

会社名: 株式会社 ホリケン			
第165回 ホリケン勉強会・安全衛生協議会		議事録	
実施年月日	2026年3月14日	議事録作成者	■■■■■
担当者	■■■■■	出席者	別紙参照
1 写真報告書の作成	3 図面の読み方		
実際にテント倉庫の扉の不具合を例にとり、現地で写真を撮り、各自写真報告書の作成を行いました。	図面で、どこに必要な情報が記載されているか、課題をもとに確認しました。 (課題)		
人に伝えるための写真報告書作りを意識するため、	①KBM、GLとFLの差②延床面積③施工区分はどこに書いてあるか		
①写真は引きで場所が分かる様に撮影し、そのあとに近くの写真を載せる。	④内装工事は誰がどこまで行うか⑤廊下の有効寸法はいくつか		
②現場で余計なもの(産廃など)がなるべく映り込まない様にする。	⑥屋根の仕上げ何か⑦AD-1の下地W開口は⑧AD-2の有効開口は		
③何を伝えたいか分かる様に意識する。(矢印や、丸を活用する)	基本的な用語の確認から、大まかな図面の構成を学び、実際に上記の課題が		
以上を意識し作成するように学びました。	図面のどこを見ればわかるか確認しました。		
2 建物診断報告書の作成	4 失敗事例～区画・立入禁止等の掲示不足～		
建物診断について説明し、こちらも実際に本社の建物診断報告書を各自で作成しました。	実際の現場での失敗事例をもとに区画・立入禁止等の掲示の大切さをあらためて学びました。		
作成にあたり、	特に、		
①ファイル名にタイトルに加え、作成日と作成者名を入れる。	①安全掲示板、立ち入り禁止の掲示は、危険の周知だけではなく会社を守るためにも必要であること。		
②指摘内容は、しっかり自分でも調べ、確認し、そのうえでお客様へ提出前に必ず元請け様に確認いただくこと。	②足場の開口養生がなされていないことで、第三者が足場下に入りケガをした事例があること。		
③誰に提出するか意識し資料を作成すること。	③以上を踏まえ、事前に仮設計画図を作成し、その計画を現場で確認することで確実な安全計画を立てること。		
以上を意識し作成するよう学びました。	④デジタル掲示板を活用し、その日に必要な安全対策を伝達すること。		
	以上の点について学び、再確認しました。		

